

研究課題名	新型コロナウイルス感染症に対する紫外線を用いた環境感染対策に関する研究
研究責任者名	広島市立舟入市民病院 感染症科 部長 松原 啓太
研究期間	2020年9月11日 ～ 2023年3月31日
対象者	2020年4月から2022年3月の間に、広島市立舟入病院、において診療を受けた新型コロナウイルス患者さん。
意義・目的	<p>新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)は、世界中で流行しており、感染対策が重要な課題です。COVID-19は、主に飛沫感染、接触感染すると考えられていますが、COVID-19患者さんの在室する環境がどれほど感染に関与しているのかは十分に分かっていません。</p> <p>そこで本研究は、広島大学病院、広島市立舟入病院、国際医療福祉大学成田病院において診療を受けた新型コロナウイルス患者さんを対象として、空気を含む患者さんの周囲環境から新型コロナウイルスを検出すると共に、紫外線による環境中のウイルス不活化効果を検証し、紫外線を用いたCOVID-19に対する感染対策を検討する研究です。</p>
方法	<p>本研究は、COVID-19患者さんの診療録(カルテ)情報を転記し、患者さん周囲環境(退室後の室内やベッド柵などから空気や環境検体を採取)から新型コロナウイルスが検出されるかの検証を行います。また、紫外線による環境中のウイルス不活化効果を検証します。さらに、残余検体(喀痰、唾液、血液、尿)が利用可能な場合にはウイルス検査に用います。</p> <p>カルテから転記する内容は、年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服歴、飲酒・喫煙歴、血液検査、COVID-19発症からの経過、症状、COVID-19に対する検査(リアルタイムPCR検査、抗原検査)、治療内容、併用治療法、画像所見(レントゲン、CT)、予後です。(個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)</p> <p>倫理委員会承認前の患者さんについては、すべて既存試料・情報のみを使用させていただきます。</p>
共同研究機関	<p>広島市立舟入病院、国際医療福祉大学成田病院</p> <p>広島大学に情報、環境サンプル、残余検体を集め広島大学(研究責任者 大毛宏喜)が解析します。</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 感染症科 教授 大毛宏喜
個人情報保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>研究責任者：広島大学病院 感染症科 教授 大毛宏喜 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-1613</p> <p>研究責任者：舟入市民病院 感染症科 部長 松原啓太 〒730-0844 広島市中区舟入幸町 14-11 T e l : 082-232-6195</p>

研究機関：広島大学